

太平洋戦争 戦中・戦後の証言と記録 目次

発刊のことば（市長）
発刊のことば（教育長）
発刊のことば（会長）

凡例

大矢野町戦争関連マップ

第一章 中世前代の社会

戦時下の生活

大矢野の漁業・海運業を支えた造船所（木造船）
蛸壺漁機械化の記録・証言
登立いわし網漁について
戦後の小学校時代の遊びと生活（昭和22～29）
太平洋戦争とわが家の断篇

戦時下の学校生活

空襲におびえた日々

宮津海岸で空襲を受けたこと
維和国民学校で機銃掃射を受けたこと
大矢野空襲（聞き取り）
残しておきたい戦時下の記憶
命がけで逃げた空襲
間近に感じた長崎の原爆
登立港周辺を急襲した米艦載機グラマンを見た
今でも消えぬ戦時下の恐怖の日々
古老が語る戦時下の体験（聞き取り）
怖かった日々（聞き取り）
忘れまじあの戦争の日々を（聞き取り）
空襲で爆弾が落ちたこと（聞き取り）
子供と年寄りの消火活動
熊本市の大空襲について
機銃掃射を受けた体験
空襲の記憶と平和の有難さ
原爆と玉音放送
戦時中の出来事と体験記（聞き取り）
海軍機の不時着と蔵々灘の混乱

戦地で戦った体験（聞き取り）

終戦後の混乱

終戦の思い出

終戦の日に多数の刀剣を投棄したこと

終戦直後、砲弾の投棄作業に従事したこと

多数の砲弾が海岸に流れ着いたこと

漂着した砲弾で大怪我したことから原爆被害（聞き取り）

弾丸投棄と友達の戦死

終戦の日の混乱

敗戦直後の暮らしをふり返って

終戦時、熊本から三角まで歩き通したA子さん達のこと

李ライン侵犯の容疑で抑留三年

北朝鮮引き揚げの体験

少年期の本渡招魂祭相撲大会遠征記

進駐軍は上陸用舟艇で来た

第二章 記録が語る戦中・戦後

戦時中の記録・写真・実物

帝国主義教育のシンボル「奉安殿」（写真）

赤紙（臨時召集令状）

戦禍を免れた梵鐘（実物）

教職員の田植風景（写真）

警防団の消防訓練（写真）

登立国民学校日誌（戦時下の生の記録）（実物）

八代市長による空爆の死傷証明書（記録）

補償を受けられなかった空襲による負傷（聞き取り）

「天草日記」橋本徳寿著から戦時中の造船技術講習会（出版書籍）

戦費調達のための政府債券等（実物）

「夏雲の記憶—〇—小隊こと」（出版書籍）

宮本研とキノコ雲を見た

「徴兵保険証券」（実物）

登立尋常小学校の校歌（記録）差し替えられた一節

「九十年を生きて」尾池八千代自伝から（文書）

「父上さま母上さま—桜恋うる英霊の声」ほか（出版書籍）

戦後の記録・写真・実物

寄せ書きの日の丸と二通の戦死公報（記録）

爆発事故による児童の死傷 登立小学校日誌（昭22年版）（記録）

「俘虜用郵便葉書」と「引き揚げ証明書」について（文書）

陸軍の燃料貯蔵防空壕（戦跡）

軍用船の造船所（文書）

農地改革による「売渡通知書」（文書）

特別寄稿

戦前からの慢性水飢饉対策 海底送水による上水道事業

第三章 大矢野地区戦没者名簿

編纂・編集委員
後がき（前会長）